

第108回 システム自然科学研究科セミナー

三次元，四次元の図形から

講師：平澤美可三 先生 (名古屋工業大学)

日時：8月11日(月) 午後1時00分より

場所：4号館 大講義室

概要

多面体を通じて，三次元，四次元の図形に親しむ．正12面体や正20面体には黄金比が綺麗に組み込まれている．黄金比は数理現象だけでなく，生物の成長や運動など，自然現象にもしばしば現れる．まだ準結晶にも繋がって行く．多面体の頂点座標，辺長，面角だけでなく，頂点，辺，面の個数にも注目し，トポロジー（位相幾何学）の考え方を導入する．グラフ理論やフラレーンの形の数理などへの応用を紹介する．また，四次元の図形の見方を導入し，例えば四次元格子の三次元への影を追うことで，ダイヤモンド格子が自然に構成できる様子などを観る．

* 集中講義・自然情報学特論5の入門です．この講義を登録または登録予定の学生は出席してください．

* 数学が専門でない方向けにお話しして下さります．ふるってご参加ください．

世話人：鎌田直子（内線：5854）